

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272100983		
法人名	有限会社サークル介護		
事業所名	グループホームぬくもりの家		
所在地 (電話番号)	〒038-2811 青森県つがる市森田町上相野柁木19番地4 (電話) 0173-49-1577		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 7日	評価確定日	平成 20年 11月 14日

【情報提供票より】(平成20年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 2月 11日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 8人, 非常勤 10人, 常勤換算	15.7人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	5,000 円	その他の経費(月額)	8,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 600 円		

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 7 名	女性 11 名
要介護1	1 名	要介護2	11 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	1 名
年齢 平均	87 歳	最低	78 歳
		最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	成田病院、尾野病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

森田町に1軒のグループホームとの事で、地域との交流はとても密に取られている。地域の皆さんはグループホームの行事へ参加され、また、利用者の皆さんも地域の方と一緒に公園の草取り等に参加されていた。グループホームでの活動をお知らせするために、地域向けの広報誌を年3回発行している。ホーム内は採光で明るく、利用者の皆さんは日中はホール内で思い思いの場所で歌詞ファイルを見ながら歌ったり、好きなテレビを見たり、何をすることなくつるいだり、ゆったりと過ごされている様子が伺えた。職員の皆さんは「笑顔をたやさず」「思いやりの心で」「共に歩む姿勢をもつ」の理念を共有した支援に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員を育てる取り組みに関して、研修委員会を設け年間計画を作成され多くの職員が、外部研修・施設内研修に参加できる体制を整えている。災害対策に関しては、避難訓練の実施・振り返り等を行い、災害用の非常品の準備がされるなど、評価後の取り組みは積極的に行なわれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は全職員で取り組み、外部評価結果を踏まえ、職員、利用者、ご家族、運営推進会議での意見も含め、サービス向上に向け取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回実施しており、ホームの取り組みを公表し意見を頂きながらサービス向上に取り組んでいる。参加者は、ご家族、地域の老人クラブ、有識者、施設職員等地域との交流を密に取っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>意見箱を設置したり、また面会時にはいつでも意見・要望を伝えることのできる体制が整っている。病院受診時は必ず内容を電話でお伝えし安心して頂ける様にしている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>グループホームの行事、夏祭りに地域の婦人会の皆さんの参加、防災訓練には地域住民、運営推進会議には老人クラブ、有識者等の参加がありまた、利用者と一緒に公園の草取りを実施するなど、地域との交流は密に行なわれています。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域版の広報誌を発行するなど交流を図りながら、家庭的な環境の下でグループホーム独自の「笑顔を絶やさず、思いやりの心で、共に歩む姿勢を持つ」の理念をつくり上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲示している。また、3ヶ月ごとに理念に添った各自の目標を掲げ取り組み、振り返りを行い、実践に活かされている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	グループホームの夏祭りに、地域の婦人会の皆さんが参加して下さったり、一緒に公園の草取りを行ったりなど、地域住民との交流が図られている。また、認知症普及のために、家族、地域の方への講習会の準備を進めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>サービス自己評価は全職員で取り組み、外部評価終了後はミーティング等で話し合い改善に向けてた取り組みを行なっている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月ごとに開催し、グループホームからの日々の取り組みや暮らしぶりをお知らせしたり、外部評価についても意見を頂きながらサービスの向上に取り入れている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の結果を報告しているのみ。</p>		<p>運営推進会議の参加等は随時働きかけ、市町村と考え方や実態を共有し合い、協議していく姿勢を期待します。</p>
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>外部研修への参加、平成20年6月より設けた研修委員会や研修参加者によるホーム内での研修会を行い、権利擁護の理解を深めるよう取り組んでいる。</p>		<p>地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について計画的な研修活動、ホーム内のマニュアル作り・記録の整理にも取り組んでみてはいかがでしょうか。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部研修への参加、研修参加者によるホーム内での研修会を行い、虐待防止の理解を深めるよう取り組んでいる。また、運営推進会議やご家族とも虐待防止に取り組んでいる。</p>		<p>平成20年6月より、研修委員会を設けホーム内の研修に取り組まれています。虐待防止について計画的な研修活動、ホーム内のマニュアル作り・記録の整理にも取り組んでみてはいかがでしょうか。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時は、契約書・重要事項説明書を使用し、利用者、ご家族から不安や疑問点を伺いながら説明し、同意を得て契約をされている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時には、日常の様子、病院受診時は受診内容や服薬変更は必ずご家族へ報告をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居時に苦情受付窓口に関する説明を行いました、意見箱の設置等、ご家族からの要望・苦情等に対して受け止める体制が整っている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動に関しては、必要最小限に止め、引継ぎの期間を充分とって引継ぎを行なっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修委員会を設け、年間の研修計画を立てながら、多くの職員が外部研修・施設内研修に参加していく体制を整えている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のグループホーム協会の研修会に参加し、情報交換の機会を作っている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用前から、馴染みの物を持参するように働きかけている。また、利用前の事前訪問にて情報収集に努め安心して暮らせるよう配慮されている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の方と同じ目線でのケアを心がけ実践している。利用者、職員お互い協働しながら生活できるような配慮や場面が感じられる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式のシートを活用し、生活歴・家族からの情報収集・利用者の言動・行動・意向等を受容し、利用者本位に検討し、サービスの提供に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日々の日常会話や行動から、家族に関しては面会時・電話等で意向を把握し、全スタッフの意見も踏まえながら、その人らしい介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的なカンファレンスに止まらず、利用者の変動があった際には家族連絡のもと、現状に即した介護計画の作成に向け、随時見直ししている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の要望に応じ、受診の送迎・付き添い、買い物・ドライブ等、柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関以外にも、本人・家族の希望する医療機関での受診の継続等の援助が提供され、受診結果を家族に報告し、情報の共有がされている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に説明はしているが、現時点で体制は整っておらず、今後取り組んでいく姿勢は伺える。又、対応困難時には、利用者に適したサービスの紹介等行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の管理・声掛けの工夫もされており、利用者を尊重した姿勢が伺える。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の大まかなスケジュールは決まっているが、個々のペース・訴え・希望に沿うべく調整している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材の下ごしらえ・後片付け・食事に及び、時間の共有がされ、双関係が構築されている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回の入浴が実践され、基本的には個々の入浴であるが、利用者の希望に応じ、気の合った利用者同士で入浴する等、臨機応変な対応がされている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>無理強いではなく、男女を問わず、清掃・食事の後片付け・食器拭き等の役割が分担され、娯楽の面でも趣味思考に応じた工夫がされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>その日の天気や状況に応じ、近隣の散歩・ドライブ・ホーム前での外気浴等、可能な限り援助している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>漠然としたものは、スタッフの意識の中にあり、緊急やむを得ない場合の「同意書」等の書類はあるが、マニュアルの作成には至っていない。</p>		<p>漠然としたものでは無く、研修会等の参加を含め、ホーム内での勉強会や独自のマニュアルの作成等、積極的な取り組みに期待します。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>センサーの設置で対応している。又、万が一の際の為に、地域の協力を呼びかけながら、日中は施錠しないケアに取り組んでいる。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回、地域住民・消防署の協力を得ながら避難訓練の実施・振り返りがされている。災害時に備えた非常用の備品(食料・タオル等)の準備がされている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>1日1,600～1,800cal位のエネルギー補給に務めている。水分に関しても3食時のお茶の他、水分補給の機会を設け、積極的に取り組んでいる。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>希望者へのインフルエンザ予防接種・ノロウイルス・手洗い・消毒に関する情報は確認できたが、感染症予防の観点からは弱いと思われる。</p>		<p>多岐に渡った情報・予防策に関して対応すべく、研修の参加・関係機関との連携等でホーム内での勉強会・独自のマニュアルの作成等、積極的な取り組みに期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ソファ等、身体機能や意向に応じた空間が確保され、大きな窓からは採光が十分降り注ぎ、庭には季節感が感じられる木々が植樹されており、落ち着いた雰囲気を感じられる。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>寝具・備品等、使い慣れた物の提供や、遺影・位牌の持ち込み、家族の写真を飾ったりと、本人・家族の意向に沿ったその人らしい居室にするべく、工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。